

隊友会の目的

- ・国民と自衛隊とのかけ橋
- ・防衛意識の普及・高揚
- ・慰霊顕彰事業・地域社会の健全な発展に貢献
- ・退職者等の福祉の増進

県央ニュース

発行責任者

公益社団法人 隊友会
 神奈川県隊友会県央支部
 支部長 藤本 正則
 090-4521-9673
 fuji0362@jcom.zaq.ne.jp

新年のご挨拶

支部長 藤本 正則



令和6年の新春を
迎える、
会員の皆様

には恙なく新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

昨年、国内では新型コロナウイルス感染症の分類変更があり、各種行事等が平年に戻った感がありました。当支部の会員は、任期満了後の方々から定年後30年以上を経過された方々、あるいは隊友会の設立趣旨に賛同された方々を含め約400名の方々がおられます。会員皆様にとりましていろいろな出来事があったと思えます。出来事の受け止め方は人それぞれです。昨年の出来事を参考に、継続すべきことは継続し、反省すべきことは反省し、今年も健康で元気な毎日を過ごされることを祈念いたします。

一方国外では、ロシアによるウクライナ侵略が継続するとともにイスラエルとハマスの戦闘が発生し、それぞれの

国民と国土に甚大な被害をもたらしています。遠い地域の出来事ではなく、我が国に当ってはめてみながら考察することも必要であると思えます。

また我が国周辺でも中国や北朝鮮が地域の安全を脅かす行動をとっています。我が国は安保3文書を策定し緊急時に備えようとしています。肝心の自衛隊員の募集が

ばつからない状況です。国民と自衛隊の懸け橋となる隊友会会員としての募集協力及び隊員家族支援や安否確認等、また防災協定に基づく地域社会への貢献に邁進していきたいと思えます。

県央支部関連の行事としては、会員皆様の安心・安全を最優先としながら各種行事を実施していきたいと考えております。今年の県央支部は、昨年と同様に会員減少の歯止めと新規会員の獲得に重点を置いた活動を実施していきます。そのためには隊友会の魅力化と会員相互の親睦を深め、「入会してよかった!」と思われる組織にする必要があります。支部役員は言うまでもなく、会員の皆様からのアイデアをお待ちしています。令和6年が会員皆様及びご

家族の方々にとりましてこの上ないご多幸、ご盛隆の年であられることを祈念申し上げます。

謹賀新年

副支部長兼総務部長 中村 章

副支部長兼事業部長 浅野 雄三

副支部長兼経理部長 齊藤 力

副支部長兼防災部長 鈴木 剛

理事役 恩蔵 豪臣 黒岩 春彦

齊藤 司 宗 潤二

竹内 諄吉 二階堂 裕

平井 功 藤本 慎二郎

山下 信好

監事役 按田 卓郎 福田 弘明

顧問 関 隆三

相談役 佐藤 誠 大島 孝二



着任・新年のご挨拶

海将補 徳留 秀和



新年明けましておめでとうございます。
令和6年の

幕開けを皆様とともに迎えることができましたことを心よりお慶び申し上げます。公益社団法人隊神奈川県隊友会県央支部の皆様には、平素から海上自衛隊厚木航空基地、とりわけ第4航空群に格別のご支援、ご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、私ども第4航空群は、皆様もご承知のとおり、洋上における警戒監視や災害派遣、救難任務等に従事し、国民の皆様からご理解とご支援を賜っていると感ずります。他方、我が国を取り巻く安全保障環境は、既存の秩序をめぐる不確実性の増大と力による一方的な現状変更やその試みにより、戦後最も厳しくかつ複雑化しており、今後とも一層厳しい状況が続くものと予想されます。また、世界に目を向けると、パレスチナ・ガザ地区のイスラム組織ハマースとイスラエルの衝突による

中東情勢の緊迫化やロシアのウクライナ侵略の長期化など、その情勢はさらに予断の許さない状況となっております。

このような情勢を踏まえ、第4航空群は精強で即応性に富み、活気溢れ、国民の皆様から信頼される部隊を目指すとともに、これからも地域の皆様と隊員が一体となった基地でありますよう一層努力してまいります。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、神奈川県隊友会県央支部の今後益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

【プロフィール】

出身地・・・千葉県
職種・・・固定翼操縦士
趣味・・・読書、散歩、

トレーニング

着任年月日・令和5年8月29日

第39代

前配置・・・海上幕僚監部

人事計画課長

(海上自衛隊第4航空群司令)



4空群ワッペン

本年も隊友会の皆様と共に
衆議院議員 義家 弘介



新年明けましておめでとうございます。隊友会の皆様にございます。

おかれましては、平素より我が国の安全保障の要である自衛隊の活動にご理解ご支援を賜っていることにより感謝申し上げます。

令和4年2月に始まったロシアによるウクライナ侵略は現在も続いております。また昨年10月には、パレスチナガザ地区を拠点とするイスラム武装組織・ハマスがイスラエルを奇襲攻撃。イスラエル側も激しく応戦し、局地戦は激化の一途を辿っております。言うまでもありませんがロシアは我が国の隣国であり、イスラエルが位置する中東は我が国にとって最大のエネルギー供給地です。

加えて核実験とミサイル発射を繰り返す独裁国家・北朝鮮、海洋進出の野心を隠そうともしなくなった中国も、我が国の隣国です。現在、中国・台湾関係はかつてないほど緊張が高まっておりますが、台湾と沖縄と那国島はわずか111キロしか離れておりません。日本はまさに最前線、これらの動きと対峙せねばならないのです。

一連の事態を受け、岸田政権は令和5年度(2023年度)からの5年間で防衛費を43兆円程度(当初計画の約1.5倍)に増額することと決定し、また「反撃能力」の保持を盛り込んだ安保関連三文書も閣議決定されました。地域の緊張が高まりの一端を辿る中、抑止力を高めていくことは極めて重要です。しかし、私たちは忘れてはなりません。国民の生命と財産、我が国の平和と安全を守るために人生を捧げている自衛官の存在なしに「本当の抑止力」はない、ということ。

迎えた令和6年。本年も隊友会の皆様と共に、自衛隊・自衛官の活動をしっかりと支えてまいります。引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

また、世界ではロシアとウクライナの紛争が続いているほか、中東のパレスチナ・ガザ地区をめぐる情勢の緊迫、深刻化、相次ぐ北朝鮮による弾道ミサイルの発射や中国の軍事力増加など、安全保障問題が大きく横たわっています。厳しい状況が増すにつれ、自衛隊の任務や責任もこれまで以上に大きなものとなるのではないのでしょうか。

貴会の皆様には、国家の危機管理の中核を担う自衛隊の諸業務を陰日向と支えていただいています。皆様

羊頭ありぬし
厚木市長 山口 貴裕



明けてもうござい
めどうござい
ます。

神奈川県隊友会
県央支部の皆様

おかれましては、輝かしい新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。国民と自衛隊との架け橋である貴会の皆様には、地域社会の健

のこれまで積み重ねてこられた経験・知識は、何ものにも代え難い貴重な財産です。その財産をいかしながら国民と自衛隊の架け橋として、国民の生命・財産を守る活動とともに、国際的な人道支援や平和協力活動に御尽力いただきますよう、お願い申し上げます。

結びに、神奈川県隊友会県央支部の益々の御発展と皆様の御健勝を、さらには自衛隊の皆様の今後の御活躍を心より祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

（特別会員）

年頭挨拶

綾瀬市長 古塩 政由



神奈川県隊友会県央支部の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、令和6年の新春を健やかに迎えのことと、お慶び申し上げます。また、平素より綾瀬市政の推進にご理解とご協力を賜るとともに、国民と自衛隊の懸け橋として我が国の平和と安全にご尽力いただいていることに心より感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症は感染法上

の5類へと移行され、長かったコロナ禍もようやく終息の兆しが見えてきました。他方で懸念されていたインフルエンザの流行が始まったことから、感染症への対応は引き続き予断を許さない状況が続いております。また、国内の自然災害については、豪雨災害の激甚化はもとより、全国各地で震度5レベルの地震が頻発したほか、伊豆諸島鳥島近海地震による津波の発生、硫黄島付近の海底火山噴火による新島形成など、関東大震災から100年を経た今、風水害や大地震をはじめさまざまな大規模災害への備えの大切さについて、想いを新たにさせられることとなりました。

一方、世界に目を向けますと、ロシアによるウクライナ侵攻は依然として出口が見えないほか、昨年10月に始まったパレスチナ武装勢力とイスラエルの武力衝突は、多くの市民が犠牲になるなど、国際社会の複雑さ、問題の根深さを目の当たりにすることとなりました。我が国周辺におきましても、一方的な現状変更の試みの強化はもとより、中国とロシアによる共同軍事活動、北朝鮮による日本海への度重なるミサイル発射など我が国を取り巻く環境は一層厳しさを増してきております。

こうした中、当市におきましては、大きな被害をもたらす災害などは、幸いにして発生いたしませんでした。

しかしながら、自然災害、特に地震につきましても、いつ発生するか分りません。また、国民保護法で想定される事態については、事前に予測できたとしても、十分な備えがでない事態も考えられます。いずれにしましても一度、大災害が発生した場合には、市ができれば対策には限界があり、災害派遣要請など自衛隊や隊友会の皆様の御支援、御協力が不可欠でございます。自衛隊の皆様には、これまでも国民の生命、財産を守り、自然災害や世界情勢への対応など、御尽力いただいているところであり、また、隊友会の皆様には、市民と自衛隊の架け橋として、地域社会の発展に寄与いただいているところでございます。今後とも引き続き、御協力賜りますようお願い申し上げます。

神奈川県隊友会県央支部の益々の御発展と皆様の御健勝と、自衛隊の皆様様の御活躍を心より祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

（特別会員）



年頭挨拶

海老名市長 内野 優



神奈川県隊友会 新年明けましておめでとうございます。

県央支部の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素から国民と自衛隊の架け橋として、今日の日本の平和と安全にご尽力いただいていることに対し、深く敬意を表します。

さて、昨年を振り返りますと、3年を超えるコロナ禍との闘いも、感染症の位置付けが2類相当から5類に引き下げられ、市民の日常生活への制約もほぼ解消し、各種イベントも復活、コロナ禍前の生活を取り戻しつつあります。そのような中、本市の人口は7月に14万人を達成し、市役所において記念式典を盛大に開催することができました。

世界に目を移すと、ロシアによるウクライナ侵攻は未だ終わりが見えぬ、また、中東では、ハマスによる無警告攻撃及びイスラエルによる激しい報復により、一般市民を含む多数の犠牲者が発生し人道上の問題として大きく取り上げられました。我が国周辺においても、北朝鮮のミサ

イル発射、中国による尖閣諸島への領海侵入など緊迫状態を感じざるを得ない年でした。力による現状変更を目の当たりにし、自分の国は自分で守るという強固な意志と能力を持つ必要性を改めて感じています。

一方、明るい話題として、野球のWBCでは日本代表が優勝し、ラグビーワールドカップでの日本代表の活躍、将棋の藤井聡太さんによる全人未踏の8冠独占など、勇気と感動を与えてくれる話題も数多くありました。

昨年、本市では大きな災害はありませんでしたが、市としては常に最悪を想定し、市民が一丸となり、自分の市は自分で守るという強い意志の下、安全安心なまちづくりを進めて参りたいと考えております。県央支部の皆様には、引き続きのご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとって本年もすばらしい年でありませうとご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

(特別会員)



特別会員 海老名市議に再選!!

おめでとうございます!

11月12日に実施された海老名市議会議員選挙において、特別会員の方々が海老名市議会議員として選出された。各議員は、県央支部の行事にも積極的に参加されており、隊友会の良き理解者でもある。今後の活躍を祈念しましょう!

- 特別会員 宇田川 希 (4期目)
- 特別会員 永井 浩介 (4期目)
- 特別会員 森下 賢人 (5期目)
- 特別会員 藤澤 菊枝 (5期目)

内野優氏 6期目の海老名市長に!!

おめでとうございます!

11月12日に実施された海老名市長選挙において、特別会員の内野優氏が6期目の市長として選出された。内野氏は、1983年から4期の海老名市議会議員を経て、2003年から海老名市長として活躍されている。また、県央支部の行事にも積極的に参加されており、隊友会の良き理解者でもある。益々のご活躍を祈念しましょう!

新年のご挨拶

3番海佐 明神 忠雄

新年明けましておめでとうございます。

隊友会の皆様におかれましては、平素から自衛官の募集広報に多大なご支援を頂き心よりお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスも5類へ移行し、以前のように街中には活気が戻りつつあり、地域の祭りやイベント等も復活し、厚木募集案内所でも募集活動として一般の方々にも自衛隊の魅力を伝える機会が増え、大変嬉しく感じている次第であります。

しかしながら募集環境の厳しさは増しており、高校生は、就職よりも大学や専門学校へ進学する割合が増加するとともに、一般企業の採用条件の高待遇化などにより、自衛官の募集活動に関する厳しさも肌身で感じております。

わが国周辺における安全保障環境の不安定化が進むなか、戦略3文書が策定され、防衛力の抜本的強化のため防衛費が増額されるなど、様々な計画が進行中ではありますが、自衛隊の根幹は「人」であることに変わりはないと考えております。したがって、隊員の確保につきましても防衛力の抜本的強化の一つであるとの認識から、「隊員募集」を担う我々所員に対する期待や責任といったものに身が引き締まる思いであります。

大きな変化のなかで、令和6年を新たに迎え、厚木募集案内所として、「新たな取り組みと地道な活動」をテーマとして、引き続き、国の防衛を担う隊員の募集に全力で取り組む所存であります。

本年も皆様方の変わらぬご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、神奈川県隊友会県央支部の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

(厚木募集案内所長)

三団体合同忘年会

四年ぶり開催

令和5年12月2日(土)4年ぶりとなる厚木管内防衛協力三団体合同忘年会が厚木商工会館において実施された。参加者は厚木管内募集相談員会から約20名、隊友会県央支部から約10名、厚木管内家族会から約20名、厚木管内選出の国会議員及び市町村長又は代理人から約10名、自衛隊協力会会長等を含め約90名とコロナ禍で実施された各種行事に比べ、盛大であった。新型コロナ

コロナ感染症が五類に変更されたことが影響していると思われる。

隊友会県央支部の黒岩氏の司会進行により、交通事情により遅れて到着した主催者代表の堀江則之募集相談員会長の挨拶で開始された。以後順番は異なったものの来賓として参加された義家弘介衆議院議員、赤間二郎衆議院議員、内野優海老名市長、山口貴裕厚木市長の挨拶が行われた。会は、隊友会県央支部長の乾杯の音頭で一気に盛り上がった。続いて来賓の紹介が行われた。以後、大和家族会が主体となったバンド「親バード」の演奏でさらに盛り上がった。

歓談の後、現役代表として海上自衛隊第4航空群の徳留群司令の挨拶があった。中締めは家族会大和地区会会長「水谷宏之氏」が実施し、予定どおり会は終了し、三々五々夜の街へ消えていった。

本会の準備等に当たった「厚木募集案内所」所長以下所員に感謝いたします。(広報部長記)



OBと陸自4施設群長



懇談中の参加者



親バードの皆様

もちつき大会

厚木基地にて開催

「厚木基地もちつき大会」は、米海軍との交流行事として毎年実施されてきたが、コロナ禍のため4年振り。令和5年12月4日17時〜19時の間、海上自衛隊厚木基地体育館

において、徳留第4航空群司令主催の下開催された。

松本航空集団司令官、厚木基地所長、隊指揮官、主要幹部・幹部海曹士代表、招待者として米海軍厚木基地司令官をはじめとする主要幹部及び家族等関係者、地元選出の太衆議院議員、近隣の綾瀬・大和・座間市長及び市議会議員並びに自治体の関係者等、藤本隊友会県央支部長、真木湘南水交会会長、厚木基地協力会、大和市自衛隊協力会及びOB等約350名が出席、盛大に催された。

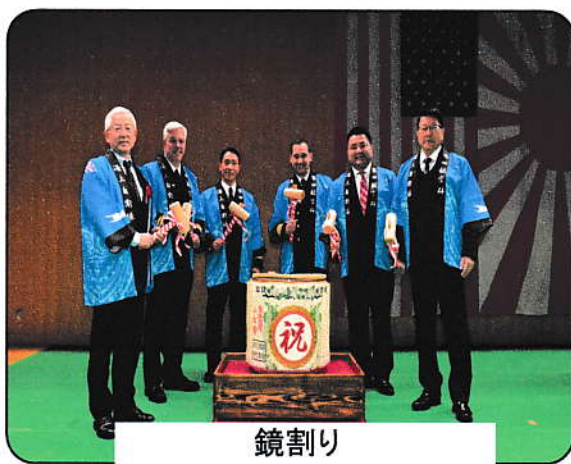
桜が丘駅から基地体育館までのマイクバスが運航されたが、一時的に米海軍東門担当者の厳しい入門確認があったものの、無事会場に到着した。

会場入り口で名札受領、レシーブラインで徳留群司令夫妻の出迎えを受け招待客等が続々入場、適宜立食形式のテーブルに就き、ドリンクコーナーで好みのウエルカムドリンクを受け取り、開会を待った。

徳留4空群司令の4年ぶりの開催、米軍オスプレイ事故・我が国の伝統行事「餅つき」の由来・我が国を取り巻く安全保障環境・米軍との友好・基地周辺自治体への感謝等の主催者挨拶に続き、米海軍基地司令官の安全保障関連・海上自衛隊・基地周辺自治体への友好と感謝等の挨拶、綾瀬・大和・座間市長の挨拶に続き、網嶋県議会議員及び綾瀬・大和・座



レシーブラインでの群司令夫妻



鏡割り

間市議会議員並びに自治体の関係者、隊友会県央支部長、湘南水交会会長、厚木基地協力会長、大和市自衛隊協力会会長、関係家族会会長等の来賓紹介があった。

その後、和やかな雰囲気の中で松本空団司令官・徳留4空群司令・米海軍

厚木基地司令官・大衆議院議員・綾瀬・大和・座間市長等による鏡割りで開会しました。鏡割りの後、間を置いて、鏡割りメンバー等によるメインの「餅つき」があり会場を大いに盛り上げた。

暫くの歓談後、基地阿波踊り連による、元氣一杯・淫漉とした男踊り・可憐な女踊り等で会場の雰囲気も最高潮に達し、阿波踊りの後登場した基地バンドメンバーによる軽快な演奏で会場の雰囲気を一気に加速、大いに盛り上げ会場は、一気に宴会モードとなった。

英語・日本語での懇談を深める友好の輪がいたるところで拡がり、あつという間の素晴らしい2時間であった。

(福田監査役記)

座間駐屯地

年末行事

「餅つき」を参加者限定で実施

令和5年12月15日(金) 陸上自衛隊座間駐屯地において「座間駐屯地年末行事」が開催された。本行事は、例年

日米隊員及び家族を含む多数の参加者を得て実施されてい

たが、本年は日米指揮官、上級下士官、防衛モニター、座間駐屯地モニター及び座間駐屯地の各種協力団体の長のみとなり、合わせて18名の参加となった。隊友会からは県央支部長及び県北支部長代理(岡澤理事)が参加した。行事は、司会者から「餅つき」及び玄関に飾られた「門



参加者集合写真

松」の歴史的意義等についての説明が行われた後、参加者がそれぞれ「餅つき」を実施した。

「餅つき」の後、幹部食堂に移動し、本多駐屯地司令、協力会会長及びハンター米陸軍大佐の挨拶があり、両指揮官は日米のパートナーシップの重要性について熱く語られた。

挨拶の後、同会場において会食が行われ、和やかな雰囲気

気で年末行事も無事終了した。



霊山寺を後にして、藤岡夫妻の案内で近くの「鳴門市ドイツ館」を見学した。



藤岡夫妻と

この地は第一次大戦時に日本軍の捕虜となったドイツ兵を収容した「板東俘虜収容所」

のあった場所であり、当時の松江豊寿所長はじめスタッフがドイツ兵捕虜の人権を尊重し、出来る限り自主的な生活を認めたため、ドイツ兵たちは彼らの優れた技術を活かして様々な活動に取り組み、中でも盛んだった演奏活動において、ベートーベンの「交響曲第九番」をアジアで初めてコンサートとして全楽章を演奏したそうである。

館内には、当時のドイツ兵たちの活動の様子や、地域の人々との交流の様子がパネルで紹介されていた。

その後、コーヒーショップに立ち寄り、お互いの近況などを話し合った。昼食を地元美味しい「うどん屋」で食べた後、徳島港のフェリー乗り場まで送ってもらった。

夫妻に別れを告げ、1時25分発の和歌山港行きの南海フェリーに乗船した。しばらく



ドイツ館

くして展望デッキに出て岸壁を見れば夫妻が見送りのため雨の中に立っていた。フェリーが岸壁を離れて見えなくなるまでお互いに手を振って別れた。

四国歩き遍路の記録	
区切り打ち1回目	29年6月22日(徳島県1番札所霊山寺) ~ 7月3日(高知県安芸市) 12日間(27寺) 歩行距離... 312.7 km
区切り打ち2回目	29年11月14日(高知県安芸市) ~ 11月27日(愛媛県西予市) (愛媛県西予市) 13日間(16寺) 歩行距離... 429.4 km
区切り打ち3回目	30年6月26日(愛媛県西予市) ~ 7月6日(愛媛県四国中央市) 11日間(21寺) 歩行距離... 282.9 km
区切り打ち4回目	30年11月20日(愛媛県四国中央市) ~ 11月28日(徳島県1番札所霊山寺) 9日間(25寺) 歩行距離... 209 km
四国路歩き遍路トータル	総歩行距離... 1,234 km

(完)

部隊指揮官

航空集団

司令官 海 将 松本 完

幕僚長 海将補 藤原 直哉

第5 1航空隊

隊司令 1海佐 井上 竜三

第6 1航空隊

隊司令 1海佐 橋口 剛

航空管制隊

隊司令 1海佐 櫻井 猛

第4航空群

群司令 海将補 徳留 秀和

首席幕僚 1海佐 中村 浩之

第3航空隊

隊司令 1海佐 佐野 浩之

第4整備補給隊

隊司令 1海佐 森岡 信也

厚木航空基地隊

隊司令 1海佐 袴田 重征

硫黄島航空基地隊

隊司令 1海佐 伊藤 進吾

その他の部隊

航空プログラム開発隊
隊司令 1海佐 白戸 将吾

厚木システム通信分遣隊・厚木警務分遣隊については、割愛致します。

第4施設群長兼座間駐屯地司令

1 陸佐 本多 健二

座間駐屯地業務隊長

2 陸佐 豊田 剛至

神奈川県隊友会新ホームページ

神奈川県隊友会のホームページがリニューアルオープンしました。県央ニュースのカラー版もこちらからご覧になれます。

<https://www.taiyukanagawa.com>

会員投稿欄

座間駐屯地開設の頃

竹内諄吉(陸)(秦野市)

五 移駐準備作業

大隊長の中島常一2佐が座間キャンプへの大隊の移駐について指示を受けたのは、移駐6カ月前の昭和56年4月であった。

移駐するに際しての情報収集や調整は難しかった。当時は相手が在日米陸海空軍すべてを統合した司令部

(GHQであるので、司令部にはマッカーサー司令官から歴代の司令官の写真が掲示されていた。)が座間キャンプであったため、大隊ごときの下級部隊が直接米軍と調整するには無理なところがあった。陸上幕僚監部

や防衛庁内局が関係し、進め方によっては国際問題になりかねないので慎重に準備を進めた。情報収集や調整を進めていくと、座間キャンプで利用できる隊舎は朝霞駐屯地でそれまで使用していた隊舎より狭く、大隊

全部が入れる余裕がないことが分かった。部隊は人だけでは任務を果たせない。大隊は多くの建設機材や車両を保有しているが、それらを収容する場所がなかった。結局座間に移駐

できるのは、大隊本部と3コ中隊のみで、大隊本部の一部、1コ中隊と器材小隊、多くの建設機材を朝霞駐屯地に残すことになった。座間キャンプで米軍の駐車場等の片隅を間借りして我々の駐車場等を設ける必要があった。

座間で利用する予定の隊舎は、米軍が倉庫として使用していた旧軍の木造2階建2棟で、ほかの周りの米軍の施設はきれいに塗装されていたが、我々が入る予定の建物は塗装が剥げて外壁はポロポロであった。

食堂や浴室、事務室や武器庫など新たに作ったり、改修しなければ利

用できない。

朝霞駐屯地業務隊の協力や技術支援を得ながら、大工棟梁経験者等約60名のチームを作り、実際に改修作業を始めたのは6月に入ってからであった。朝霞と座間の移動には片道3時間かかるため、改修作業は

かどらない。このため、座間キャンプ内にテントを持ち込み、自炊や携行食で数日宿営しての作業を繰り返した。輸送効率を上げるため、大きな器材や資材は大型トレーラーの荷台に箱型の枠を作り、輸送隊を組んで夜間運行で輸送した。

一方、部隊活動するための規則等も自衛隊の通常の規則と大きく異なる、米軍のルールや慣習などに従う

ところが多かった。調整しながら規則を作って、移駐する隊員に教育する必要があった。

(以下次号)

厚木募集案内所からのお知らせ

2024新年号

※ 1月1日現在、次の募集を行っております。対象者情報の提供にご協力よろしくおねがいます。

募集種目	資格		受付期間	試験期日
自衛官候補生	18歳以上33歳未満の者 (32歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者)		年間を通じて	受付時又は自衛隊神奈川地方協力本部のホームページにてお知らせします。
一般曹候補生	18歳以上33歳未満の者 (32歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者)		3月1日～5月9日	1次：5月19日～28日 2次：6月17日～7月2日 ※いずれか1日を指定されます。
幹部候補生	一般	大卒程度 22歳以上26歳未満の者 (20歳以上22歳未満の者は大卒(見込含)、修士課程修了者等(見込含)は28歳未満の者)	① 3月1日～4月14日 (音楽要員を除く。)	① 1次：4月22日・23日 (4月23日は海・空飛行要員のみ) 2次：5月26日～6月1日 3次：(海・空飛行要員のみ) (海)：6月22日～26日 (空)：7月15日～8月3日 ② 1次：6月24日 2次：8月1日～7日
	院卒者	20歳以上28歳未満の者 修士課程修了者等(見込含)		
	歯科・薬剤科	専門の大卒(見込含)20歳以上30歳未満の者 (薬剤科は20歳以上28歳未満の者)	② 3月1日～6月15日 (飛行要員除く。)	
医科・歯科幹部	医師・歯科医師の免許取得者		2月1日～6月8日	6月23日
陸上自衛隊 高等工科学校生徒	一般	男子で中卒(見込含)17歳未満の者	(受付中)～1月6日	1次：1月20日 最終：2月9日
予備自衛官補	一般	18歳以上34歳未満の者	1月10日～4月6日	5月31日
	技能	18歳以上で国家免許資格等を有する者 (資格により年齢上限は53歳未満～55歳未満)		

厚木募集案内所（厚木市中町 2-6-24 ほてい屋第2ビル3階：046-400-2486）



編集子

△ 昨年は4年ぶりの各種行事、隊友会県央支部関係では総会・納涼懇親会・合同忘年会等が、部隊関係では観桜会・厚木航空基地殉職隊員慰霊祭・日米親善もちつき大会等が実施され、平常が戻りつつある年であった。

△ 一方国際社会ではロシアのウクライナ侵略による戦争の継続、イスラエルとハマスの戦いの始まり等があり、虐げられるのは一般市民である。今年が平穏な日々の連続であることを祈念せずにはいられない。

△ 毎回であるが、編集担当者としては、原稿集めに苦労する。会員皆様の積極的な投稿をお待ちしております。原稿は3月、6月、9月、12月の中旬までに送付頂ければ掲載が可能です。

編集後記